



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月14日

上場会社名 株式会社 大泉製作所
 コード番号 6618 URL <http://www.ohizumi-mfg.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 後藤 英恒
 (氏名) 鶴本 貴士
 TEL 04-2953-9212

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	8,678	△8.1	376	△39.5	323	△51.7	236	△50.5
2019年3月期第3四半期	9,440	1.6	622	9.4	670	57.4	477	96.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 191百万円 (△48.8%) 2019年3月期第3四半期 374百万円 (2.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	28.22	28.09
2019年3月期第3四半期	57.02	56.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	9,090	2,332	25.3	274.62
2019年3月期	8,928	2,200	24.3	259.73

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 2,297百万円 2019年3月期 2,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,958	△4.1	535	△27.3	478	△36.4	354	△36.9	42.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	8,367,468 株	2019年3月期	8,367,468 株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	178 株	2019年3月期	178 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	8,367,290 株	2019年3月期3Q	8,367,290 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(会計上の見積もりの変更)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下、当四半期）の世界経済は、長引く米中貿易摩擦などにより先行きに不透明感が広がり、設備投資の停滞や消費の減速が続きました。米国及び欧州では一部に景気回復が見られましたが、中国では景気減速が継続し、日本経済は10月の消費税増税による内需の冷え込みも加わり、低成長の域にとどまりました。

このような事業環境のもと、当社グループは自動車の電動化領域および光通信分野の量産体制の整備と将来に向けた増産体制の構築を進めつつ、空調用はVE(ValueEngineering、製品の機能価値を低下させずにコストダウンを実現するための手法)により原価を低減した製品の拡販に注力してまいりました。

その結果、当四半期における売上高は8,678百万円（前年同四半期比8.1%減）となりました。

損益面では、VEによる原価低減とコスト削減に努めたものの、増産に向けた先行投資負担から、営業利益は376百万円（同39.5%減）、経常利益は323百万円（同51.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は236百万円（同50.5%減）となりました。

主な用途別売上高は、次のとおりであります。

①自動車部品事業は5,370百万円（同6.2%減）

カーエアコン、エンジン領域等の既存製品は、中国市場の低迷およびインドの景気悪化等の影響を受け、減少いたしました。

一方、成長分野である電動化領域の売上高は、一部において中国の新エネルギー車（NEV）補助金減額の影響を受けながらも、前年同四半期比14.8%増と伸長いたしました。

②空調・カスタム部品事業は2,765百万円（同12.1%減）

中国市場の低迷による不動産建設の減退および企業の設備投資抑制の影響を受け、中国国内向けの空調用、工作機用が減少いたしました。

また、日本国内においては、初夏の天候不良により空調の販売が減少したことに加え10月以降の消費増税影響や暖冬が重なり、伸び悩みました。

一方、ASEANでは旺盛な空調需要を背景に好調に推移いたしました。

③エレメント部品事業は541百万円（同4.9%減）

光通信分野の売上高は5Gの普及期に向けた需要増加で前年同四半期比162.3%増と伸長いたしました。既存製品は、顧客の在庫調整による売上減少が続きました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は9,090百万円（前連結会計年度末比162百万円の増加、同1.8%増）となりました。これは主に有形固定資産の増加によるものであります。

負債につきましては6,757百万円（前連結会計年度末比29百万円の増加、同0.4%増）となりました。これは主に借入金の増加によるものであります。

なお、親会社株主に帰属する四半期純利益236百万円の計上等により、純資産は2,332百万円（前連結会計年度末比132百万円の増加、同6.0%増）となりました。また、自己資本比率は25.3%（前連結会計年度末比1.0%増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年11月14日に公表した業績予想を据え置いております。

なお、第4四半期の事業環境は、米中貿易摩擦問題の経済への影響は薄まる見通しであるものの、中東情勢の緊迫化による経済への影響リスクが高まる中、足元の市場動向は依然として不透明な状況が続くものと予想しております。

また、COVID-19(2019年12月に中国で発生した新型コロナウイルスによる感染症)の感染拡大に伴い、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。当該事象に伴う影響については連結業績予想に織り込んでおりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,448,474	1,466,133
受取手形及び売掛金(純額)	2,493,639	2,124,998
商品及び製品	793,449	890,157
仕掛品	701,644	790,845
原材料及び貯蔵品	628,335	667,834
その他	127,201	120,305
流動資産合計	6,192,743	6,060,275
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	831,392	881,427
その他(純額)	1,562,576	1,751,564
有形固定資産合計	2,393,968	2,632,991
無形固定資産	60,571	113,955
投資その他の資産	280,796	282,883
固定資産合計	2,735,336	3,029,830
資産合計	8,928,080	9,090,105
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	667,132	519,652
短期借入金	714,557	652,050
1年内返済予定の長期借入金	200,000	438,512
未払法人税等	97,968	69,173
その他	1,489,345	1,453,603
流動負債合計	3,169,004	3,132,991
固定負債		
長期借入金	2,700,000	2,832,395
退職給付に係る負債	765,143	684,863
資産除去債務	27,416	46,584
その他	66,212	60,324
固定負債合計	3,558,772	3,624,167
負債合計	6,727,777	6,757,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,039,484	1,039,484
資本剰余金	509,910	509,910
利益剰余金	408,447	577,633
自己株式	△73	△73
株主資本合計	1,957,768	2,126,954
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	422,726	354,573
退職給付に係る調整累計額	△207,245	△183,700
その他の包括利益累計額合計	215,480	170,873
新株予約権	27,053	35,119
純資産合計	2,200,302	2,332,946
負債純資産合計	8,928,080	9,090,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	9,440,687	8,678,196
売上原価	7,423,692	6,909,127
売上総利益	2,016,994	1,769,068
販売費及び一般管理費	1,394,480	1,392,664
営業利益	622,514	376,404
営業外収益		
受取利息	8,859	12,054
受取配当金	644	66
助成金収入	—	7,980
為替差益	67,091	2,913
その他	15,300	6,039
営業外収益合計	91,895	29,053
営業外費用		
支払利息	38,804	52,705
手形売却損	75	39
支払手数料	1,000	1,000
デリバティブ評価損	—	27,100
その他	4,222	813
営業外費用合計	44,103	81,658
経常利益	670,306	323,799
特別利益		
投資有価証券売却益	10,953	—
固定資産売却益	—	1,344
特別利益合計	10,953	1,344
特別損失		
固定資産除却損	7,760	1,118
特別損失合計	7,760	1,118
税金等調整前四半期純利益	673,498	324,025
法人税、住民税及び事業税	166,144	67,195
法人税等調整額	30,221	20,705
法人税等合計	196,365	87,901
四半期純利益	477,133	236,124
親会社株主に帰属する四半期純利益	477,133	236,124

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	477,133	236,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,834	—
為替換算調整勘定	△95,694	△68,152
退職給付に係る調整額	△1,381	23,545
その他の包括利益合計	△102,910	△44,607
四半期包括利益	374,222	191,516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	374,222	191,516
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より海外子会社においてIFRS第16号「リース」を適用しております。当該会計基準の適用にあたり、当社グループは経過措置として認められている累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結貸借対照表において有形固定資産の「その他」が95百万円、流動負債の「その他」が66百万円、固定負債の「その他」が29百万円増加しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(会計上の見積もりの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

当連結グループは、温度センサ、電子部品等の製造販売及びこれらに付帯する業務の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

当連結グループは、温度センサ、電子部品等の製造販売及びこれらに付帯する業務の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。